

## 第7回交通大臣会合 大臣声明（仮訳）

APEC 域内の自由で開いた貿易及び投資に関するポゴール目標を支える、安全、安心かつシームレスで持続可能な運輸システムの構築に引き続きまい進するため、2011年9月14日、米国サンフランシスコにおいて APEC 域内の交通大臣が一堂に会した。

アジア太平洋地域のダイナミズムが世界経済の成長の原動力となった。経済の重要な鍵として、運輸は昨今の APEC 域内における経済・金融の再生と復活大きな役割を果たしてきている。また前会合以降にアジア太平洋地域で発生した東日本大震災やオーストラリア、チリ、中国、ニュージーランド、米国等の国で起こった悲劇的な自然災害に対する備えや復旧、対応においても、運輸は鍵となっている。

予想外の自然災害は、いついかなる場所でも発生しうるものであり、我々の全てに対して大きな影響を与えるものである。我々は将来の APEC 域内の自然災害へより良く対応するため、過去の経験から学ぶこと、継続的な改善へコミットメントすること、各国の最適な運輸システムの構築の為に必要なことについて共通理解を作り上げていくことの重要性を強調した。

この取り組みに関連して、我々は、災害リスクの削減とビジネス及び社会復興を支援する APEC 緊急事態の備え作業部会、及びその他、緊急事態や災害へのより良い備えと復旧を可能とさせるような重要な取り組みを支援する。

2010年11月に日本の横浜で行われた首脳会合で、APEC の首脳が、多くの潜在的能力を持つ女性たちの地域経済における貢献が未だに実現されていない点を指摘したことに言及する。これは、経済成長の重要な要素である「輸送」に特に言えることである。輸送分野は女性に政策や法律と科学、エンジニアと革新を結合させる機会を与えてくれる。既にこの分野で活躍している女性もいるが、APEC 各国が、現在および将来の世代において女性のリーダーが持つ潜在的能力を十分に活用することを保証するためにも、より積極的なアウトリーチやその他の手段を進展させ、それを実施していく必要がある。我々は、TPT 会合の一部として「女性と交通」についての定期

的対話を設立することを歓迎し、そして TPTWG に対し、それぞれのエコノミー内で「女性と交通」に関する役割を増やすことのできるイニシアティブやアウトリーチ、手段について情報を交換するよう指示する。そして、エコノミー各国が特定の環境に適用できるベストプラクティスの大綱をつくりあげ、各国がそれぞれのイニシアティブやプログラムを発展させ、その取組みをより大きい APEC の対話や取組みの中にまとめていく。

我々や各首脳が示した指示の実現の中で、今年で 20 周年を迎える交通作業部会（以下：TPTWG）によって、2009 年の前会合時からの成し遂げられた進展があったことを、我々は認める。

### **環境に優しい成長と運輸の革新の推進**

我々は APEC 首脳成長戦略の 5 属性（安定した、包括的な、持続可能な、革新的な、安心できる成長）の実施による、安全、安心、かつシームレスで持続可能な運輸への貢献を強調している。これに関して、我々は環境に優しい成長が APEC 域内の持続可能な発展に貢献することを認識している。

我々は、2011 年 9 月 19 日にサンフランシスコで開催される、「環境に対するリーダーシップ」との連携による環境に優しい港に関するワークショップ等の活動による APEC ポートサービスネットワーク（APSN）の環境に優しい港の推進を歓迎する。

また、我々は技術革新、先進技術や行動様式の変化が、環境に配慮された運輸システムの更なる発展に寄与したことについて言及しておく。我々は TPTWG に対し、運輸システムの持続可能な成長を維持しつつ、運輸から排出されている二酸化炭素削減の為の新興技術を有効に利用する方法を評価するよう促す。

2010 年 11 月の APEC での首脳宣言（横浜ビジョン）に応じて、エネルギー効率の良い輸送を促進するため、我々は TPTWG に対して、代替燃料の使用及びエネルギー効率の良い交通インフラの開発を含めた、優先的に燃費効率の良い運輸政策及び施策の開発と促進を指

示する。

我々は改めて、2011年9月13日にカリフォルニア州サンフランシスコで交通・エネルギー担当大臣共同会合における APEC エネルギー担当大臣の同意を受けて、「将来の効率的なエネルギー利用と持続可能な低炭素輸送への APEC の推進のための行動指針」にコミットすることをここに表明する。この点に関して、我々は、TPTWG に対し、エネルギー作業部会と協力して APEC 域内の環境保護及び持続的な長期的成長の確保の為、行動指針を実施することを指示する。

我々は他の作業部会との APEC エコノミー内の効率的なエネルギー使用に関して分野横断的で強固な連携をとることを推奨する。

### **規制に関する協力の促進**

我々は貿易の円滑化のためには、可能な限り国内の基準を関連する国際基準に調整し、かつ他の国際フォーラムと協力し合うことの重要性を認識している。我々は、TPTWG が、国際義務と良質な規制慣行の双方に矛盾することなく、規制を改善して、具体的な成果を得ることに焦点をおいて、それぞれの共同取り組みを促進するよう指示する。

我々は、自由で開かれた貿易を達成する重要な手段であるサプライチェーン連結性を向上させるため、我々は対象となる運輸に関する規制改革や運輸インフラへの投資が必要であると認識している。

我々は APEC 域内及び世界の貿易とヒト・モノの移動の円滑化を推進する一方で運輸安全と保安の重要性も認めている。

我々はテクノロジーの利用、人的資源開発、訓練及びベストプラクティスの共有といった運輸安全及び保安施策の強化を継続するよう、TPTWG に指示する。

我々は国際民間航空機関（以下：ICAO）と国際海事機関（以下：IMO）の基準と推薦される慣行への適合を各エコノミーに促しており、TPTWG に対して ICAO, IMO と協力して保安、安全、環境対策に関して

可能な限り取り組むよう指示する。

我々は、TPTWG に対し、国際ルートにおいてシームレスな人流・物流の一部を構成することから、鉄道と道路保安の分野での活動を強化するよう促す。

我々は TPTWG と APEC テロ対策タスクフォースとの現在行われている協調の重要性を認識しており、ここで強調する。

我々はグローバルサプライチェーンが、戦略的かつ本質的なインターモーダルであり、全運輸環境の中で物品、運搬、施設、コミュニケーションサービス、拠点を包含していると認識している。グローバルサプライチェーンは、シームレスな保安と全交通モードの円滑化の推進を確保するために、全ての利害関係者が良好に統合していくことを必要とする。従って我々は TPTWG に対してグローバルサプライチェーンの強化に向けて取り組みを続けている他の APEC フォーラムの世界税関機構（WCO）、国際標準化機構（ISO）、ICAO、そして IMO と協調するよう指示する。

さらに具体的には、我々は、運輸の施設、車、人々、貨物に対する潜在的な脅威について、特定し、評価し、情報共有する能力を強化していくことを高い優先事項とすること、国内法とプライバシーを尊重しつつ、重大な犯罪を防ぎ対処すること、貿易促進と脆弱性最小化のため国際基準の調整に取り組むこと、そして貿易相手国とともに貿易の回復と促進に取り組むことを TPTWG に指示する。

我々は国連「2011 年～2020 年の交通安全のための行動 10 年」の重要性を強調する。我々は交通安全イニシアティブを打ち出し、各加盟国の交通安全の取り組みを増加するような機会を評価することに賛成する。そして TPTWG に対してそれらに優先的に取り組む事を指示する。

また我々はエコノミーに国連欧州経済委員会（UNECE）の自動車基準調和世界フォーラム（WP29）への参加を強く推奨する。

## 地域経済統合の強化

自由・開放的な貿易と投資の促進に向けた地域経済統合を強化する APEC の取組の支援の下、可能な限り、貿易や投資に係る障壁を取り除きながら、我々は APEC 地域における全ての交通分野において、より一層の自由化を推進することを約束することを再びここに明言する。

我々は、貿易の強化と促進を促す、安全で効率的なグローバルサプライチェーンシステムを支援・運営するための人的能力及びその他資源の開発に対し、引き続きのコミットしていくことが重要である旨留意する。

我々は APEC 共通海運原則の実施を通して、ボゴール目標に関連した人材育成への取り組みを促している。我々は特に、「定期船に関する APEC ガイドライン」など最近の目覚ましい成果を認知した。これは APEC 域内の自由で開かれた貿易の促進のためにエコノミーの自主的採択を意図して作成されたものである。

我々は各交通モードにおけるシームレスな国際的な接続の強化を支援することをここに示したい。そして TPTWG に対して、天然資源の保全及び環境への影響の軽減を改善しながら、エコノミーによる安全、安心で効率的なヒトとモノの移動を引き続き確保していくよう指示する。

我々は特に、大きな課題の削減による物理的な連結性の強化と「APEC サプライチェーンの連結性の枠組みに関する行動計画」の実行—それは運輸分野が重要な役割を担うことになる—による市場統合の重要性を強調する。我々は TPTWG に対し、APEC 域内の時間、コスト、運搬貨物及びサービスの不確実性を削減する観点から、2015 年までにサプライチェーン・パフォーマンスの 10%向上を目標とする行動計画の運輸関連部分の推進に、優先度を高くして取り組むよう指示する。

我々はまた、適切に機能しているパブリックプライベートパートナーシップ（PPP）市場を効果的に利用することを含め、各加盟国に

対し運輸インフラに対する投資を増やすための方法を評価するよう促す。

我々は貿易や経済の成長の立役者としての航空サービスの潜在性を最大限に活かしたいと思っている。自由国際航空体制は、地域を越えて航空サービスの発展を支援するものである。我々は全てのエコノミーに対し、航空サービスプロバイダーが市場需要に応える能力に関する制限をなくしていくことが望ましいことを評価するよう促す。エコノミー各国が加入することのできる国際航空交通の自由化に関する多国間合意の可能性を検討していくことは有効であり、各エコノミーが多国間パートナーと素早く自由な航空運航の環境を築くことができるようになる。

我々は、ビジネス航空産業に存在する、APEC 地域において重要なプラスの経済的影響を持つ潜在的な力を認識している。しかしながら、APEC のエコノミー各国は、ビジネス航空のコアな利益となる運航の柔軟性に欠かせないであろう、相互に通用する規制枠組みのネットワークを発展させることの重要性について、検討し始めたばかりである。主要なアジア貿易の中心は、かつてない、時間節約の方法で、ビジネス旅客のために結び付けられるだろう。ビジネス航空はまた、主要都市や工業中心地へのアクセスを必要とする小さいコミュニティや農村人口にとって、世界貿易への扉を開くことにも貢献する。我々は、地域における経済活動や貿易に確かな貢献をするものとして、ビジネス航空の運航の発達を促進・支援する TPTWG のイニシアティブを歓迎する。我々は TPTWG に対し、ビジネス航空の利益を確認することや、ビジネス航空運用に適用できる APEC での合意原則を発展・推進に取り組むよう促す。

最後に、我々は改めて各エコノミーの活発かつ継続的な協力を通して可能となる TPTWG の働きに対して感謝の意を表明する。我々はひとつの共同体として、TPTWG、他の APEC フォーラム、そしてその他国際機関がそれぞれ抱えている問題に対して、お互いを支援し続けることをここに約束する。我々は目標達成に向けた取り組みを続けるためにも 2013 年に再び大臣会合を開くことに合意する。